

しいたけ 栽培技術情報 No.2

県内の栽培作業状況は、県南や沿岸北部の一部で採取が始まり、作業の最盛期を迎えました。前回の情報でもお伝えしましたが、きのこ採取・乾燥作業と春の農作業とが重なりますので、気象に配慮した計画的な作業を行うことが大切です。

今月上旬は、温かい日が続き、全般的にほだ木の乾燥状態が続きましたが、中旬になって降雨があり、予報では数日後も降雨が予想されますので、きのこの生育環境として良好な状況にあります。今後の気温の推移によっては「一斉発生」などが想定されます。『適期適作業』を徹底するよう各普及区での指導をお願いします。

きのこの生育促進操作が必要です 被覆資材を活用しよう！

きのこの生育を促進するため

降雨後、芽切ったほだ木にビニールや保温・保湿材を活用して被覆する。
ほだ木ときのこの状態をよく把握して、被覆と取り外し作業をこまめに行う。

良質なきのこ採取が大切です 採取は適期に行いましょう！

良質なきのこ採取と効率的な適期採取作業を行うため

乾燥の経費節減と良質なきのこ生産のためにも、『日和子』で採取する。
降雨が予想される場合は、きのこの採取時期が少々早くとも降雨前に採取する。
採取寸前で降雨に当たったきのこは、防風ネットのすそを上げるなど、風を通してきのこを乾かしてから採取する。

高品質な乾しいたけづくりが大切です 採取後速やかに乾燥しよう！

高く売れる高品質な乾しいたけづくりをするため

乾燥機の稼働能力を考慮して計画的な採取作業をする。
採取したきのこはその日のうちに乾燥する。
乾燥機に入らない場合は、エビラに並べ通風の良い所に置く。

詳細な技術については添付「農業普及（季節の農作業）4月号」を参考にしてください。

（担当：菊池 019-698-1337）